



# 研究力を向上する研究基盤イノベーション

## —研究基盤EXPO2021の開催報告—

### 研究基盤EXPO2021 実行委員長

研究・イノベーション学会 研究基盤イノベーション分科会 主査

江端 新吾 (東工大 総括理事・副学長 特別補佐)

### 研究基盤EXPO2021 実行委員

水田 剛 (文科省), 佐々木 隆太 (北大), 清 悦久 (東工大), 林 史夫 (群馬大)  
下須賀 雅壽 (文科省), 鈴木 正義 (文科省), 内藤 一洋 (文科省), 梅津 大紀 (文科省), 高橋 久徳 (東工大)  
高田 綾子 (東工大), 奥野 和泉 (東工大), 小田 慶喜 (東海大), 荒砂 茜 (金沢大), 杉山 博則 (金沢大)

### 研究基盤イノベーション分科会 幹事

江龍 修 (名工大 理事・副学長), 植草 茂樹 (東工大), 岡 征子 (北大), 佐々木 隆太 (北大)  
清 悦久 (東工大), 林 史夫 (群馬大), 丸山 浩平 (早大), 森本 稔 (鳥取大)

# 研究基盤EXPO 2021 プログラム

ex21-①	1月22日(金) 10:00~11:30	第5回新共用事業連絡協議会 『新共用事業の総評と総括』
ex21-②	1月22日(金) 13:30~18:00	第8回北海道大学オープンファシリティシンポジウム 「北大コアファシリティ構想」および「先端研究設備整備補助事業(研究活動再開等のための研究設備の遠隔化・自動化による環境整備)」の初年度報告
ex21-③	1月25日(月) 13:00~15:00	令和2年度 国立大学法人機器・分析センター協議会 シンポジウム 大学等の設備共用施設が最大の成果を生み出す環境とは ~人材活用の観点から~
ex21-④	1月26日(火) 13:00~16:30	大学技術職員組織研究会シンポジウム 「研究基盤を支える技術職員の組織とキャリアパス」
ex21-⑤	1月27日(水) 13:30~17:00	文部科学省先端研究基盤共用促進事業シンポジウム 共催: 研究基盤イノベーション分科会 ポストコロナ社会における研究環境のデジタル・トランスフォーメーション (DX)
ex21-⑥	1月28日(木) 9:00~12:00	研究基盤イノベーション分科会(第2回) 共催: 文部科学省 コアファシリティ構築支援プログラムと戦略的経営に資する研究基盤のあり方
ex21-⑦	1月28日(木) 13:30~17:00	第7回設備サポートセンター整備事業シンポジウム 設備サポートセンター整備事業での成果と今後の展開
ex21-⑧	1月29日(金) 13:00~17:00	研究基盤協議会イベント 若手×大学×文科省 対話で考える研究基盤

## 研究・イノベーション学会 研究基盤イノベーション分科会



【本分科会について】

分科会設立からわずかな期間を経て令和2年1月30日、宮崎大学・東京工業大学の後援をうけ、宮崎観光ホテルにて、「研究基盤イノベーション分科会(第1回) 研究基盤を研究し、イノベーションを起こす仕組みの構築へ」が開催されました。発表者ならびに150名を超える参加者は、研究者、技術職員、事務職員、URAなど、本分科会が基本理念とする「すべてのステークホルダーが集まる場」にふさわしい方々で、充実した発表に続き、質疑応答ではフラットな場へと雰囲気を変え、様々な立場の方からの意見を頂くことが出来ました。

今年度はオンライン環境を活かし、「研究基盤のための特別な一週間」と題して文部科学省とともに研究基盤EXPO2021を開催します。これまでイベントに参加できなかった方も是非ご参加ください。

研究基盤EXPO2021 実行委員長 江端 新吾

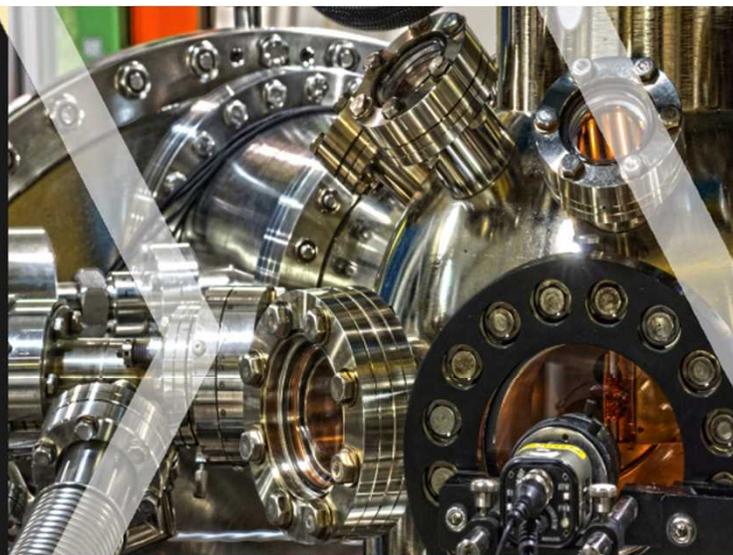
新型コロナウイルスの感染拡大による研究活動停滞への対応は、科学技術・イノベーション政策における最重要課題の一つであり、研究活動を支える研究基盤にとってもその在り方を幅広い分野の専門家とともに解決すべき時にある。

そのような中、研究基盤イノベーション分科会が研究者・技術職員・事務職員・URA等が一堂に会して上記課題を議論する「場」として設立されたことは、まさに時宜を得たものである。

研究基盤に関するイノベーションの創出に向けた議論は世界にも先駆けたものであり、この分科会においてそれぞれが所属する分野・立場を越えた積極果敢な議論が展開されることを期待する。

原山 優子(研究・イノベーション学会会長(2020年度)/東北大学名誉教授)

研究基盤  
のための  
特別な  
一週間



## 研究基盤イノベーション分科会・文部科学省 連携企画 研究基盤EXPO 2021

2021 1.22-29

1月22日(金)	・第4回新共用事業連絡協議会 ・第8回北海道大学オープンファシリティシンポジウム	オンライン
1月25日(月)	・令和2年度 国立大学法人機器・分析センター協議会シンポジウム	オンライン
1月26日(火)	・大学技術職員組織研究会シンポジウム	オンライン
1月27日(水)	・文部科学省先端研究基盤共用促進事業シンポジウム #1	オンライン
1月28日(木)	・研究基盤イノベーション分科会(第2回) #2 ・第7回設備サポートセンター整備事業シンポジウム	オンライン
1月29日(金)	・研究基盤協議会イベント	オンライン
2021年4月以降	・研究基盤協議会キックオフイベント	

#1 共催: 研究基盤イノベーション分科会 #2 共催: 文部科学省

※詳細はQRコードからご確認ください。

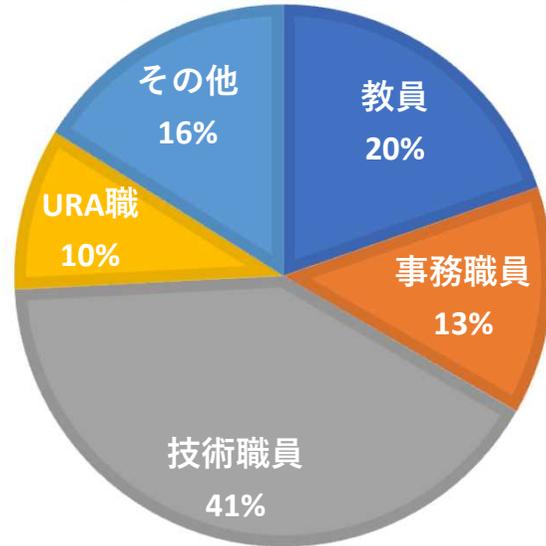
※主催: 研究基盤イノベーション分科会、共催: 文部科学省、後援: 東京工業大学

研究基盤協議会: 研究基盤イノベーション分科会が主催する、文部科学省事業採択校の有志を中心に、全ての大学・研究機関を含む多様なステークホルダーによる新たな協議の場として2021年設立予定

研究基盤イノベーション分科会  
Innovative Research Infrastructures for STI Subcommittee (IRIS)

文部科学省  
MINISTRY OF EDUCATION,  
CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

## 研究基盤EXPO2021の参加者 約1,500名（速報値）



### 【ご講演・ご挨拶】 文部科学省より

板倉 康洋	科学技術・学術政策局長
梶原 将	大臣官房審議官
仙波 秀志	研究開発基盤課長
中川 尚志	政策推進室長
齋藤 正明	学術機関課係長
下須賀 雅壽	研究開発基盤課長補佐
水田 剛	研究開発基盤課係長
永野 智己	JSTフェロー

### 大学執行部より

増田 隆夫	北海道大学 理事・副学長
渡辺 治	東京工業大学 理事・副学長
和田 隆志	金沢大学 理事・副学長
上西 研	山口大学 理事・副学長
笠原 博徳	早稲田大学 副総長
那須 保友	岡山大学 理事・副学長

### 研究開発基盤部会より

岸本 喜久雄 部会長

## 参加者の声より

- 大学の理事にあそこまで本音で話をしてもらえたことに感銘を受けた。研究基盤EXPO2021は大変有意義なものであったし、ぜひ全国の大学の理事・副学長に聞いてもらいたいので、継続して議論を続けてほしい。
- これまでも技術職員の諸問題について議論するチャンスはあったが、なにも変わらなかった。それは実は技術職員自身の問題であったことに気がついた。
- いままで若手が集まる機会がもてなかったが今回のイベントで新たなネットワークができ、声をあげることができるようになったのは大変よかった。

## コアファシリティ事業採択校パネルディスカッションより

- 大学間の横の連携は重要であり、研究基盤マネジメントや技術職員等の諸問題についてコアファシリティ事業採択校がアライアンスを組む必要がある。
- コアファシリティ事業は大変重要な事業でその責任を痛感するとともに第2期校とともに標準化を目指したい。
- 日本の科学技術発展のためにも継続的な議論の場が必要。「研究基盤協議会」に期待したい。

## 板倉局長ご挨拶（1/28）より

- コアファシリティ事業の採択機関には、率先して、大学の経営戦略と一体的な組織全体としての研究基盤戦略の立案・実施に取り組み、パイオニアとして全国の大学を引っ張っていくことを期待しています。

## 仙波課長ご挨拶（1/29）より

- 日本全国の多くの方が一堂に参画できる仕組みとして、「研究基盤協議会」が設立されたことは大変意義深い。文部科学省としても、「研究基盤協議会」と密に連携し、研究現場の最前線で取り組まれている皆様とともに、これからの研究基盤を考えていきます。

研究現場の想いを経営者に、政策立案現場に届け、  
経営者の想いを、政策立案現場の想いを、研究現場に届ける  
「対話の場」

## 研究基盤協議会（2021.1.29 始動）

### 【設立趣旨】

研究基盤イノベーション分科会(IRIS)が主催する「文部科学省事業採択校の有志」を中心にした国公私大その他関係機関を含む多様なステークホルダーが議論する新たな協議の場としてここに設立する。

### 【幹事会】

代表の江端（東工大）を含め9名の幹事で構成

### 【事務局】

研究基盤イノベーション分科会(IRIS)

### 【サポーター】

コアファシリティ事業採択校・文科省ほか有志

### 【研究基盤協議会 活動内容】

年に1回の総合シンポジウム（ex.研究基盤EXPO2021）の開催をはじめ、以下部会によるイベントの開催、アンケート調査・分析等を行う。

1. 戦略的経営に資する研究基盤のあり方を検討する部会
2. 研究基盤共用システム（研究基盤IR含む）のあり方を検討する部会
3. 研究基盤に関わる人材育成（技術職員等）のあり方を検討する部会
4. 研究基盤に関わる若手ネットワーク（研究基盤EXPO2021持ち込みイベント①参加者ほか）
5. . . . テーマは随時募集中

資料等はIRISサイトにアーカイブし、これらの活動を通じて提言をまとめ、文部科学省はじめ関係各所へIRISと共同で提案する。

文部科学省がまとめる予定のガイドライン/ガイドブックの作成をサポートしていく。（旧新共用事業連絡協議会の案件を引き継ぐ形）

# 研究基盤EXPO2021 ex21-①, ex21-② (2021.1.22)

※発表資料等はIRISアーカイブ (<https://iris.kagoyacloud.com/irisアーカイブ/>) に順次アップされています



ex21-①

先端研究基盤共用促進事業 (新たな共用システム導入支援プログラム)

## 第5回 新共用事業連絡協議会 『新共用事業の総評と総括』

研究開発の現場と汎用・最先端機器を共用することで生み出される産官学の好循環の実現を目的とし、平成28年度から「先端研究基盤共用促進事業・新たな共用システム導入支援プログラム」が開始されました。事業開始後、38機関からなる連絡協議会にて機器の共用に関する意識や問題点の共有、そして制度自体の改革を行いつつ「新たな共用システム」を進めてまいりました。今回、プログラムの終了にあたり、文部科学省・研究開発基盤課を交え事業の総評と総括を行い、次の方向性を探索する機会とします。



①『先端研究基盤共用促進事業 (新たな共用システム導入支援プログラム) の総評』文部科学省 科学技術・学術政策局 研究開発基盤課

②『事業の総括と提言』新共用連絡協議会幹事校



令和3年1月22日(金) 10:00 ~ 11:30



オンライン開催(Zoom)



参加申込は研究基盤イノベーション分科会(IRIS)の特設ページからご登録ください  
<https://iris.kagoyacloud.com/riexpoform/>



HOKKAIDO UNIVERSITY 第8回 北海道大学 オープンファシリティシンポジウム

# Open Facility Symposium

2021.1.22 Fri 13:00-18:00 (受付 12:30-)

オンライン開催 / 事前参加申込制 / 参加無料

北海道大学オープンファシリティシンポジウムは、今年度で開催8回目を迎えます。今回は、令和2年度採択の先端研究基盤共用促進事業「北大コアファシリティ構想」および同年度採択の「先端研究設備整備補助事業(研究活動再開等のための研究設備の遠隔化・自動化による環境整備)」の初年度報告を行います。現在、新型コロナウイルス感染症の影響により経済活動、働き方、研究・教育活動など様々な面で変革が求められております。文部科学省、他大学の関係者にもご参加いただき、ニューノーマル時代における新たな研究・教育活動の在り方を考える場を設けさせていただきます。

### — プログラム —

13:00	開会の辞
-13:05	
13:05	基調講演(質疑10分)
-13:40	文部科学省 科学技術・学術政策局 研究開発基盤課
13:40	講演
-13:55	『先端研究基盤共用促進事業 北大コアファシリティ構想事業の概要』 網塚 浩 北海道大学グローバルファシリティセンター センター長
13:55	講演
-14:10	『北大コアファシリティ構想事業 技術支援人材育成プログラムについて(仮)』 五十嵐 敬文 北海道大学技術支援本部 副本部長
	(質疑応答)
14:25	招待講演(質疑10分)
-14:55	『先端研究基盤共用促進事業 東工大コアファシリティ構想』 江端 新吾 東京工業大学 戦略的経営オフィス 教授 / 総括理事・副学長 特別補佐 / 内閣府 政策統括官(科学技術・イノベーション担当)付 上席科学技術政策フェロー
15:10	令和2年度 GFC 事業経過報告(質疑10分)
-16:20	● GFC 事業推進室 ● オープンファシリティ部門 ● 機器分析受託部門 ● 試作ソリューション部門 ● 設備リユース部門 ● 国際連携推進部門
16:35	パネルディスカッション
-17:55	『ニューノーマル時代の新たな研究・教育活動の在り方を考える』 【モデレーター】● 網塚 浩 北海道大学 GFC センター長 【パネリスト】● 文部科学省 科学技術・学術政策局 研究開発基盤課 ● 江端 新吾 東京工業大学 戦略的経営オフィス 教授 / 総括理事・副学長 特別補佐 ● 五十嵐 敬文 北海道大学 技術支援本部 副本部長 ● 出村 誠 北海道大学 先端生命科学研究所 教授 ● 大谷 文章 北海道大学 触媒科学研究所 教授 ● 佐々木 隆太 北海道大学 GFC 副センター長
17:55	閉会の辞
-18:00	

申込方法 ※ 締切: 2021年1月15日(金)  
右のQRコードより必要事項を入力の上お申込みください  
\* 当日参加の受付は行いません。事前の参加申込をお願いいたします。  
お申込みいただいた方全員に、後日 WEB 配信接続 URL をお送りいたします

お問い合わせ  
北海道大学グローバルファシリティセンター (担当: 中村)  
e-mail: [event@gfc.hokudai.ac.jp](mailto:event@gfc.hokudai.ac.jp)

主催: 北海道大学グローバルファシリティセンター 共催: 北海道大学大学力強化推進本部

# 研究基盤EXPO2021 ex21-③, ex21-④ (2021.1.25-26)

※発表資料等はIRISアーカイブ (<https://iris.kagoyacloud.com/irisアーカイブ/>) に順次アップされています



## 国立大学法人機器・分析センター協議会 令和2年度 シンポジウム

開催日時: 2021年1月25日(月) 13:00~

開催方法: Zoomによるオンライン開催

テーマ: 大学等の設備共用施設が最大の成果を生み出す環境とは  
~人材活用の観点から~

### プログラム:

- 12:00 受付開始
- 13:00 オープニング/シンポジウム趣旨説明  
会長 栗原靖之 (横浜国立大学)
- 13:15 技術職員アンケート報告  
「技術職員が最大の成果を生み出す環境とは」  
岡征子(北海道大学)、林史夫(群馬大学)

### パネルディスカッション

- |              |                 |                          |
|--------------|-----------------|--------------------------|
| ファシリテーター     | 会長              | 栗原靖之 (横浜国立大学)            |
| パネリスト        | 技術職員            | 岡征子(北海道大学)<br>森加奈恵(佐賀大学) |
|              | 教員              | 境健太郎(宮崎大学)<br>林史夫(群馬大学)  |
|              | 大学執行部           | 那須保友(岡山大学)               |
| コメンテーター      | 文部科学省研究振興局学術機関課 |                          |
| 15:00 クロージング | 副会長             | 江端新吾 (東京工業大学)            |

参加対象: どなたでも参加できます 参加費: 無料

参加申込: 事前登録が必要です。以下のサイトからお申し込み下さい。

[https://zoom.us/webinar/register/WN\\_8-GQh\\_eESHmbjWaBVPrgQ](https://zoom.us/webinar/register/WN_8-GQh_eESHmbjWaBVPrgQ)

登録して頂くと、接続 URL が自動返信されます。

申込締切: 2021年1月22日(金)

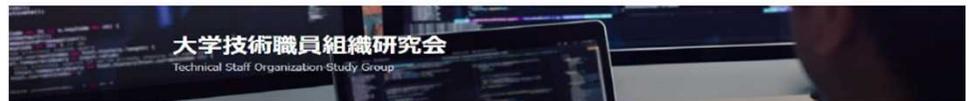
問合せ先: [kiki\\_koho@googlegroups.com](mailto:kiki_koho@googlegroups.com) (機器・分析センター協議会 広報委員会)

\* 本シンポジウムは研究基盤EXPO2021の一環として開催されます

研究基盤EXPO2021

## 大学技術職員組織研究会シンポジウム 「研究基盤を支える技術職員の組織とキャリアパス」

2021.1.26 (火) 13:00-16:30



大学技術職員組織研究会とは

国立大学法人における教育研究系技術職員は、専門的な技術面から教育研究をサポートする職として位置づけられている。多くの機関では組織化されているが、運営体制や人員構成、技術の伝承、若手の育成などは各機関で大きく異なり、組織運営については標準化モデルは存在せず、それぞれの機関で試行錯誤が行われているのが現状である。本研究会は、技術職員の組織の在り方について、様々な側面から解析、考察して技術職員の将来を見据えた組織の構築に寄与することを目的に設立されたものである。大学技術職員組織研究会HPより抜粋

### 【プログラム】

- 13:00-13:05 開会挨拶  
玉岡 悟司 評議員/名古屋工業大学
- 13:05-14:00 基調講演  
「研究基盤イノベーション政策における技術職員への期待と対話」  
中川 尚志 文部科学省大臣官房政策課政策推進室長
- 14:00-14:20 技術職員アンケート調査結果報告  
玉岡 悟司 評議員/名古屋工業大学
- 14:20-15:00 遠隔操作デモ  
遠隔操作プロジェクトチーム 渡邊 政典 評議員/山口大学
- 15:15-16:25 パネルディスカッション  
ファシリテーター: 丹松 美由紀 評議員/鳥取大学 (予定)  
パネリスト: 水田 剛 文部科学省  
屋比久 祐盛 評議員/琉球大学  
小森 和樹 東北大学  
杉山 博則 金沢大学  
西川 嘉子 奈良先端科学技術大学院大学  
吉田 秀樹 神戸大学  
森 加奈恵 佐賀大学
- 16:25-16:30 閉会挨拶  
江端 新吾 特別顧問/東京工業大学 教授

申込方法: 右のQRコード、または <https://tosg.net/entryEXPO2021/> からお申し込み下さい

申込締切: 2021.1.18 (月)

> お申込み頂いた方には後日接続URLをお送りいたします

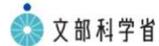
主催: 大学技術職員組織研究会

URL: <http://tosg.net/>



# 研究基盤EXPO2021 ex21-⑤, ex21-⑥ (2021.1.27-28)

※発表資料等はIRISアーカイブ (<https://iris.kagoyacloud.com/irisアーカイブ/>) に順次アップされています



## 先端研究基盤共用促進事業シンポジウム2020

産学官の全ての研究者に開かれた研究設備・機器の実現に向け、大学・研究機関の先進的な取組を紹介します。また、研究基盤のプラットフォーム化の活動やネットワークの活動、ポストコロナ社会における研究環境のデジタル・トランスフォーメーション (DX) 推進のための活動を紹介します。

**日時** 令和3年1月27日 (水) 13時30分～17時00分

**会場** オンライン開催 (Cisco Webexの予定)

**締切** 令和3年1月26日 (火) 17時00分

**主催** 文部科学省 **共催** 研究基盤イノベーション分科会 (IRIS)

参加費  
無料  
事前申込  
必要

### プログラム

13:30～13:40 開会挨拶 梶原 将 (文部科学省・大臣官房審議官)

13:40～15:05 共用プラットフォーム形成支援プログラムの成果報告

NMR共用PF	木川 隆則 (理化学研究所・細胞構造生物学研究チームリーダー)
光ビームPF	小杉 信博 (高エネルギー加速器研究機構・物質構造科学研究所長)
原子・分子の顕微イメージングPF	込本 尚義 (北海道大学 大学院理学研究院・教授)
風と流れのPF	坪井 誠司 (海洋研究開発機構 地球情報基盤センター・情報技術担当役)
アトミックスケール電磁場解析PF	品田 博之 (日立製作所 基礎研究センター・技術顧問)

15:05～15:20 先端研究設備プラットフォームプログラム及びリモート化・スマート化の推進について  
下須賀 雅壽 (文部科学省・研究開発基盤課長補佐)

15:30～16:30 研究機器相互利用ネットワーク導入実証プログラム(SHARE)の成果報告

技学イノベーション機器共用NW	齋藤 信雄 (長岡技術科学大学 工学部・准教授)
阪奈機器共用NW	古谷 浩志 (大阪大学 科学機器リノベーション・工作支援センター・准教授)
ABC課題解決型共用システムNW	松尾 光一 (慶應義塾大学 医学部・教授)
次世代医療研究開発基盤NW	小柴 生造 (東北大学 東北メディカル・メガバンク機構・教授)

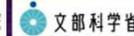
16:40～16:55 研究スタイル・研究環境の変革 (RX) へ向けて  
永野 智己 (科学技術振興機構・フェロー／研究監)

16:55～17:00 閉会挨拶 仙波 秀志 (文部科学省・研究開発基盤課長)

**参加申込方法** 以下の事前登録フォームからお申込みください

[https://pf.mext.go.jp/admission/form\\_0001-37-2-2.html](https://pf.mext.go.jp/admission/form_0001-37-2-2.html)

※ご記入いただきました個人情報は「先端研究基盤共用促進事業シンポジウム2020」のために使用するもので、他の目的には使用いたしません。



研究基盤イノベーション分科会2020 (第2回)

## コアファシリティ 構築支援 プログラム と 戦略的経営に資する研究基盤 のあり方

1月28日  
(木)  
9:00 - 12:00

9:00-9:05

開会挨拶

名古屋工業大学 理事・副学長  
IRIS副主査・研究開発基盤部会委員 江龍 修

9:05-9:15

趣旨説明

東京工業大学 総括理事・副学長 特別補佐  
IRIS主査・研究開発基盤部会委員 江端 新吾

9:15-9:30

招待講演

科学技術・学術審議会 委員  
研究開発基盤部会 部会長 岸本 喜久雄

9:30-10:45

「コアファシリティ構築支援プログラム」成果報告

北海道大学 理事・副学長 (研究、産学官連携、情報担当)  
増田 隆夫  
渡辺 治  
東京工業大学 理事・副学長 (研究担当)  
金沢大学 理事・副学長 (研究・社会共創担当)  
和田 隆志  
山口大学 理事・副学長 (学術研究担当)  
早稲田大学 副総長 (研究推進担当)  
上西 研  
笠原 博徳

10:45-10:55

休憩

10:55-11:55 パネルディスカッション

ファシリテーター : 江端 新吾  
パネリスト (予定) : [北大] 増田理事・副学長 [東工大] 中村吉男研究  
基盤戦略室長 [金沢大] 和田理事・副学長  
[山口大] 上西理事・副学長 [早大] 合田巨人研究  
推進部長  
コメンテーター : 江龍理事・副学長・岸本部会長

11:55-12:00

閉会挨拶

文部科学省科学技術・学術政策局長 板倉 康洋

# 研究基盤EXPO2021 ex21-⑦, ex21-⑧ (2021.1.28-29)

※発表資料等はIRISアーカイブ (<https://iris.kagoyacloud.com/irisアーカイブ/>) に順次アップされています

## 研究基盤EXPO'21 オンライン 第7回 設備サポートセンター整備事業シンポジウム

設備サポートセンター整備事業での成果と今後の展開

日時：令和3年1月28日(木) 13:30~17:00

場所：Zoomによるオンライン開催

<https://setubi.ctg.u-toyama.ac.jp/event/toyamasymposium0128/>

併催：研究基盤イノベーション分科会(第2回) 9:00~12:00

昨年度、研究基盤イノベーション分科会(IRIS)を宮崎大学様のご協力のもと立ち上げることができ、研究基盤イノベーションに関わる多様なステークホルダー(教員・技術職員・事務職員・URA等)が実質的な成果や問題意識を共有する場として活動を行ってきました。

今年度は、IRISと文部科学省の共同企画で「研究基盤EXPO2021」を2021年1月22日(金)から29日(金)までの1週間にわたり開催することとなり、IRIS主催の企画として、コアファシリティ事業採択校の経営陣をお招きし、各事業構想についてご紹介いただいたのち、経営視点からの研究基盤について議論をする場を設ける運びとなりました。

オンラインでの開催となりますが、大変濃密な3時間となりますので、[QRコード]よりぜひご参加ください。



### シンポジウムプログラム 13:30~17:00

事務局から開催アナウンス	13:30	休憩	14:40
開催挨拶	13:35	パネル討論会	14:55
富山大学長 齋藤 滋		・第1部 「設備サポートセンター整備事業での成果と今後の展開」	
来賓挨拶	13:40	・第2部 「今後の継続的の大学連携について」	
富山県商工労働部長 布野 浩久 氏		※ファシリテーター： 設備サポート・マネジメントオフィス	
基調講演Ⅰ	13:45	※パネラー： 文科省学術機関課	
「共同利用・共同研究体制の強化・充実について」 文部科学省研究振興局学術機関課 研究設備係長・研究支援係長 齋藤 正明 氏		北海道大学/群馬大学/東京工業大学 東京農工大学/名古屋工業大学/京都大学 岡山大学/山口大学/鳥取大学/宮崎大学	
基調講演Ⅱ	14:05	ポスターセッション	16:10
「研究基盤政策の動向について(仮)」 文部科学省科学技術・学術政策局研究開発基盤課 研究設備係長 水田 剛 氏		「これまでの成果と今後の展開」採択20大学	
事業総括	14:25	施設見学会(質疑)	16:40
富山大学 設備サポート・マネジメントオフィス		閉会挨拶	16:55
		富山大学 副学長・理事 北島 勲	

主催：富山大学 <http://www.u-toyama.ac.jp>  
後援：富山県 <http://www.pref.toyama.jp>  
お問合せ：設備サポート・マネジメントオフィス

TEL:076-445-6713 E-mail: [setubi@ctg.u-toyama.ac.jp](mailto:setubi@ctg.u-toyama.ac.jp)



# 若手 × 大学 × 文科省

対話で考える研究基盤

ex21-⑧  
研究基盤協議会プレイベント  
1月29日(金)  
13:00~16:50

13:00~13:05	オープニングリマークス (北海道大学 佐々木隆太)
13:05~14:05	<b>持ち込み企画1</b> 若手技術職員×1年生ゼロ局員での政策対話
14:05~15:05	<b>持ち込み企画2</b> これからの研究基盤運営のポイント
15:05~16:35	<b>持ち込み企画3</b> Science Talks TV オンラインライブ
16:35~16:45	研究基盤協議会設立について (IRIS主査 江端新吾)
16:45~17:00	グランドフィナーレ (文部科学省, 実行委員会からご挨拶, 集合写真撮影)

※各企画の内容・開始・終了時刻は多少変わる可能性があります。

未来の主役が今日の主役

精鋭が未来の研究基盤を議論する

# 研究基盤協議会プレイベント（これまでになかった新たな企画の開催）



## ①若手のネットワーキング

### 若手技術職員×1年生ゼロ局員での政策対話@研究基盤EXPO2021

令和3年 1月29日 13:05~14:05  
 大学技術職員組織研究会  
 近畿地区女性技術職員ネットワーク  
 文部科学省局横断・萌芽的政策検討チーム（ゼロ局）

#### 本セッションの概要

- ▶ 研究基盤イノベーションは多様なステークホルダー（PI・教員・技術職員・事務職員・URA等）で成り立っている。
- ▶ 技術職員だけでもその業務内容は多岐にわたる。しかし、政策立案ではこの多様性にまだ十分対応できていないのではないか。

本セッションでは、若手職員同士で政策対話を行い、これからの研究現場を支えていく若手技術職員と文科省若手職員の間での人脈構築の場とともに研究基盤協議会への若手参画の契機とする。



研究基盤協議会

若手が議論に参画

## ②ステークホルダー徹底対話

ex21-⑥ 研究基盤協議会プレイベント 持ち込み企画2 14:05~15:05

### これからの研究基盤運営のホ

企画担当: 荒砂 茜 (金沢大学・URA)  
 小田 慶喜 (東海大学・技術職員)  
 杉山 博則 (金沢大学・技術職員)

＜オーディエンス参加型企画＞  
 ・発言は自由です！  
 ・チャット・挙手・いきなりマイクONなんでもOK！  
 ・ネガティブな発言はNGです！

#### 研究設備の遠隔化

遠隔操作システム  
 外部接続通信用端末 (Gateway PC)  
 リモートKVMスイッチ  
 リモート会議システム  
 測定制作者のPC  
 測定制作者のPC  
 測定制作者のPC

#### 金沢大学の事例

既存の設備にKVMスイッチ、Gateway PCを接続ネットワークに接続できない設備も遠隔操作可能  
 リモート会議システムを介した接続のため、多人数の講習会も開催可能  
 設備本体をPCで制御できる設備であれば対応可能

◎ 夜間や休日を装置の共同利用時間に活用  
 夕方: サンプル・遠隔操作セッティング  
 夜間: 遠隔操作のみ設備開放  
 朝: 通常利用のためのセッティング

#### これからの研究基盤運営

- ・利用可能時間が増えたことによる新たな設備利用サービスの提供(企業・ベンチャー利用優先枠の設置)
- ・遠隔利用可能な設備マップの作成

## ③メディア連携

ScienceTalks TV



メタメタサイエンスLIVE

日本が最高の研究パフォーマンスを出すために

研究の『チーム』と『ファシリティ』はどこまで最適化できるか？

【1/29登壇者】  
 鳥取大, 大阪大, 名工大, 九工大, 琉球大, 京都大, 金沢大, 東海大, 北大, 東大, 海洋研究開発機構, 東工大  
 文科省スポーツ庁政策課, 政策課政策推進室, ライフサイエンス課, 原子力課, 産業連携・地域支援課, 科学技術・学術戦略官 (国際担当)

1/29開催！メタメタサイエンスLIVEイベント  
 「日本が最高の研究パフォーマンスを出すために、研究の『チーム』と『ファシリティ』はどこまで最適化できるか？」

研究現場の想いを経営者に、政策立案現場に届け、  
経営者の想いを、政策立案現場の想いを、研究現場に届ける  
「対話の場」

## 研究基盤協議会（2021.1.29 始動）

【研究基盤協議会 幹事会】9名+a

代表 江端 新吾（東工大）新共用，コアファシリティ  
顧問 江龍 修（名工大）設備サポート，新共用

### ○IRIS幹事会より

植草 茂樹（公認会計士，東工大，農大）コアファシリティ，新共用  
佐々木 隆太（北大）コアファシリティ，新共用，設備サポート  
林 史夫（群馬大）新共用，設備サポート

### ○新幹事

長谷川 浩（金沢大）コアファシリティ，新共用，設備サポート  
齋藤 信雄（長岡技科大）SHARE  
境 健太郎（宮崎大）新共用，設備サポート  
梅津 太紀（文科省）&若手技術職員（検討中）（若手代表）

【事務局】 研究基盤イノベーション分科会（IRIS）

【サポーター】 コアファシリティ構築支援事業採択校，文部科学省  
旧新共用事業連絡協議会，設備サポートセンター整備事業採択校 有志